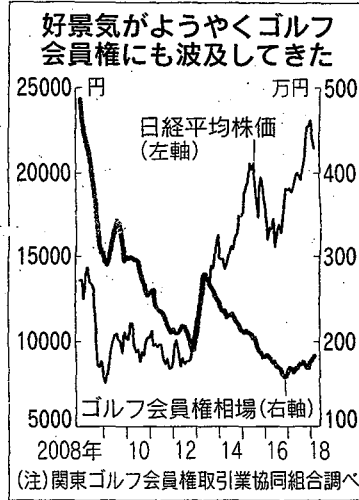


ゴルフ会員権 フォローの風

関東、昨年度4年ぶり上昇



低迷が続いたゴルフ会員権の相場が上昇に転じた。関東ゴルフ会員権取引業協同組合（東京・千代田）によると、関東圏の2017年度平均の取引価格（主要150コース）は前年度比3%高い173万円と4年ぶりに上昇した。法人が高値で買った会員権を売る流れが一巡し、高額帯の買いが増えた。株高などフォローの風が会員権相場に

続けたが「昨秋で底を

接待需要が底入れ

打った」(同)。

「500万〜1000万円の役員接待向けの会員権を賣う動きが強まっている」(仲介会社の桜ゴルフ東京・中央)。

同社ではこの価格帯の3月の買い注文が前年比4割増えた。

かつてゴルフ会員権は投資商品と位置づけられる傾向が強かった。現在は接待など実需の裏打ちがある購入が中心だ。「去年から名門クラブが混み始めた」(仲介大手)。

仲介各社は4月以降も堅調な需要を見込む。

会員権相場は株価との連動性が高いとされる。短期的には相関性が薄れたが「長い目で見れば景気と連動している」(桜ゴルフ)。

好景気で多くの企業が接待費節減などの姿勢を緩め、相場の底入れにつながった。